

春野町探訪

目的：春野地域で生活する方と交流したり、施設に訪問して、学生が春野地域を知るきっかけとする。

日時：2024年3月26日(火) 10:00～16:00

場所：春野地域の各所

参加者：本島さんご夫妻、マルカワ応援団のみなさん5名、小野歩実、加藤綾香、木曾七海、山下彩花

10:00～ 天竜二俣駅集合 車で移動

・ いっぱく処横川(※お休み) 休憩

春野に向かう途中にある、道の駅いっぱく処横川を訪れた(お休みだった)。本来はお土産を買ったり、そばやうどんといった食事ができるそう。また、しいたけソフトクリームときった特徴的な商品がある。

・ 天野一子さん宅

100歳になられた天野さんの自宅を訪問した。天野さんは、元小学校の先生であり、現在はちぎり絵をたしなんで日々を過ごしていらっしゃる。ちぎり絵は3月のマルカワの蔵での展示となっていた。お気に入りの作品はたけのこのちぎり絵。天野さんの娘さん(自宅で書道教室をされている)のサポートを受けて生活していらっしゃる。ちぎり絵の絵の下書きは娘さんが描いている。天野さんは介護のサービスも受けているが、家にいる時も寝て過ごすのではなく、起きてご飯もしっかり食べて元気に生活を送っているそう。天野さんは寝ている時間をもったいないと考えているそう。ちぎり絵は数年前に出会ってから夢中になり、多くの作品を製作なさっている。元気の秘訣はよく食べることと、くよくよしないことだそう。また、シイタケ茶をごちそうになった。



・ 春の名物である巨大な天狗のお面を見た。



・ 風香つきみ亭

最近オープンした、古民家カフェ風香つきみ亭で昼食をとった。鉄板メニューはナポリタン。また、日替わりランチがある。マルカワ応援団の皆さんや学生同士でお話しながら食事した。※ここでマルカワ応援団の皆さんと合流。



・ 月花園

春野の銘菓である、あおねりを販売している月花園を訪れた。あおねりは1個100円で販売されていた。学生はあおねりを購入していた。



・ くまの親子(※お休み)

本来はお土産が買える場所であるとのこと。

・ 鈴木末吉さん宅

もともと木こりをされていて、天竜さとやま交流会でも講師としてお話いただいた、鈴木末吉さん(94歳)からお話を伺った。自宅にいるとき、末吉さんは家事全般は基本的に自分でやることを心がけているそう。自炊もしていて魚をさばくのが好きだそう。一時的に介護施設に入っていたこともあったが、なんでも職員の方にお世話してもらって生活をしていたら、どんどん下半身が弱くなっていっていることが自分で分かったそう。また、最近になって株の投資の勉強をしたそうだ。実際に投資して成功したとのこと。ただ、この歳になるとお金があっても使いたいと思うこともなくなるとおっしゃっていた。人と話すと、特に若い人と話すと元気が出るそう。また、近くに温泉があるのでまた入りに来てとおっしゃってくださった。



16:00 天竜二俣駅到着 解散